

愛知東邦大学 シラバス

開講年度 (Year)	2024年度	開講期 (Semester)	後期
授業科目名 (Course name)	学びの基礎 II		
担当者 (Instructors)	中山 孝男	配当年次 (Dividend year)	1
単位数 (Credits)	2	必修・選択 (Required / selection)	選択

■ 授業の目的と概要 (Course purpose/outline)			
<p>経営学部地域ビジネス学科・国際ビジネス学科では、みなさんが現代社会のさまざまな分野で活動・活躍していけるようになるための基礎的な能力を身につける学修を、系統的に諸科目で行っている。この「学びの基礎 II」では、それらの科目での学修をより効果的に進めるための真の意味での「学びの基礎」となる知識・能力の確認と修得を、前期の「学びの基礎 I」の一段上のレベルを目指す。各回の授業では、ビジネスに関連する新聞の社説などから漢字の読みを学修し、一方でビジネスの世界では必要不可欠な数量的データの少しだけ応用的なレベルでの扱いに関する学びを進めていく。</p>			

■ 授業形態・授業の方法 (Class form)	
授業形態 (Class form)	演習
授業の方法 (Class method)	テキストの指定された範囲の漢字を読んでいき、数量に関するやや高度な問題を解いていく。これに加えて、ビジネスに関連する文章を読み、内容を確実に理解できるようになる練習をする。

■ 各回のテーマとその内容 (Each theme and its contents)			
回数 (Num)	テーマ (Theme)	内容 (Contents)	メディア区分 (Media)
第1回	はじめに：この授業の目的と進め方の説明と履修上の約束	この授業の進め方を説明し、授業で使用するテキスト（問題集）を配布する。その後、受講するに際しての約束を確認する。	<input type="checkbox"/>
第2回	文章の読み書き能力（1）	ビジネスに関連する内容の文章を用い、大学での学修に必要な漢字の読み書き能力を高める。	<input type="checkbox"/>
第3回	文章の読み書き能力（2）	ビジネスに関連する内容の文章を用い、大学での学修に必要な漢字の読み書き能力を高める。	<input type="checkbox"/>
第4回	文章の読み書き能力（3）	ビジネスに関連する内容の文章を用い、大学での学修に必要な漢字の読み書き能力を高める。	<input type="checkbox"/>
第5回	文章の読み書き能力（4）	ビジネスに関連する内容の文章を用い、大学での学修に必要な漢字の読み書き能力を高める。	<input type="checkbox"/>
第6回	文章の読み書き能力（5）	ビジネスに関連する内容の文章を用い、大学での学修に必要な漢字の読み書き能力を高める。	<input type="checkbox"/>
第7回	数量的データの扱い（1）	ビジネスに関連する文章や資料に出てくる数値の意味を把握する能力をより高める。	<input type="checkbox"/>
第8回	数量的データの扱い（2）	ビジネスに関連する文章や資料に出てくる数値の意味を把握する能力をより高める。	<input type="checkbox"/>
第9回	数量的データの扱い（3）	ビジネスに関連する文章や資料に出てくる数値の意味を把握する能力をより高める。	<input type="checkbox"/>
第10回	数量的データの扱い（4）	各種の表やグラフで表されるデータの意味を把握する能力をより高める。	<input type="checkbox"/>
第11回	数量的データの扱い（5）	各種の表やグラフで表されるデータの意味を把握する能力をより高める。	<input type="checkbox"/>
第12回	数量的データの扱い（6）	各種の表やグラフで表されるデータの意味を把握する能力をより高める。	<input type="checkbox"/>
第13回	少し高度な内容のビジネス文書を読み解く（1）	少し専門的なレベルの内容を含み、数量的な分析を必要とする文章を、どのように読んでいくべきなのかを理解する。	<input type="checkbox"/>
第14回	少し高度な内容のビジネス文書を読み解く（2）	少し専門的なレベルの内容を含み、数量的な分析を必要とする文章を、どのように読んでいくべきなのかを理解する。	<input type="checkbox"/>
第15回	総合的な学習能力の確認とまとめ	今まで学修してきたことを総合的に復習し、この科目での学修成果を測る。	<input type="checkbox"/>

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

事前学習：テキストで指定された次回の分を確実に予習する（2時間）。 事後学習：授業で理解しにくかった部分を中心に、前回の内容を確実に理解・解答できるようにしっかりと復習する（2時間）。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

予習してきたかどうかは、授業で順番に当てて答えてもらうことで判明する。また、授業中に行う小テストは、採点した上で次回の授業で返却し、詳細に解説する。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◆ 2021地域ビジネスDP1	経営学部 of 授業で使用する教科書・講義資料を正確に読み取ることができ、同時にその中に出てくる数量的データを処理したり、その意味を基本的なレベルで理解することができる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			100%	

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

原則4回ごとに計3回小テストを行い、それぞれ20%を配分し、総合的な復習の後に行うテストに40%を配分する。以上の合計100%で成績を評価する。

■テキスト(Textbooks)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	初回の授業で配布する。	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1		
2		
3		
4		
5		